

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校給食施設管理事業			会計	款	項	目	大	事	小
				01	10	06	05	02	02	
政策	O2	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	学校教育課					
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	遠藤 由樹					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小中学校の児童生徒及び教職員等	意図	安定的な給食の提供
事業内容	1 設備・機器の保守、清掃等 2 備品整備 3 衛生害虫の駆除 4 消耗品・光熱水費など需用的な経費			
事業開始から現在までの状況変化	昭和30年代に小学校、50年代には中学校の給食が開始された。また、昭和61・62年には自校複合直営方式を実施するため、4中学校に共同調理場が設置された。給食調理場全般に老朽化が見られ、年次計画で備品・施設の更新、修繕等を行っている。また併せて、ドライシステム採用に努力するよう国からの指導があり、今後対応していかなければならない。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	給食設備、機器等の保守点検	79	56	49	回	→→	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 児童生徒の栄養向上、生活指導の向上により、体格・体力・健康増進を図ることができた。 また食育の一環として給食を位置付けることにより、より豊かな教育実践が期待できる。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		106,647,051	108,494,852	103,429,955				
事業費(b)(円)		104,538,651	106,092,102	101,080,755				
うち一般財源		104,538,651	106,092,102	101,080,755				
職員給与費(c)(円)		2,108,400	2,402,750	2,349,200				
人役・職員(人)		0.28	0.35	0.35				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	老朽化した備品等を優先順位をつけて更新し、より良い給食の提供を図る。	③取組の課題	安全で美味しい給食が求められているところであり、食器の改善など、更に給食の業務環境の向上を目指す必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	安全・安心に配慮した衛生管理を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	実態を的確に把握し、老朽化による施設、設備、備品の更新を行い、より良い給食の提供を図る。